

文部科学省委託  
教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業  
「教科教育モデルコアカリキュラムの策定事業」報告会  
—「学び続ける教員」を育成する  
小学校教員養成モデルコアカリキュラムの開発—

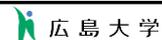
「広島大学作成  
教科教育モデルコアカリキュラム案の報告」  
木原 成一郎(広島大学)

2018年(平成30年)1月20日(土)  
広島大学 東千田未来創生センター



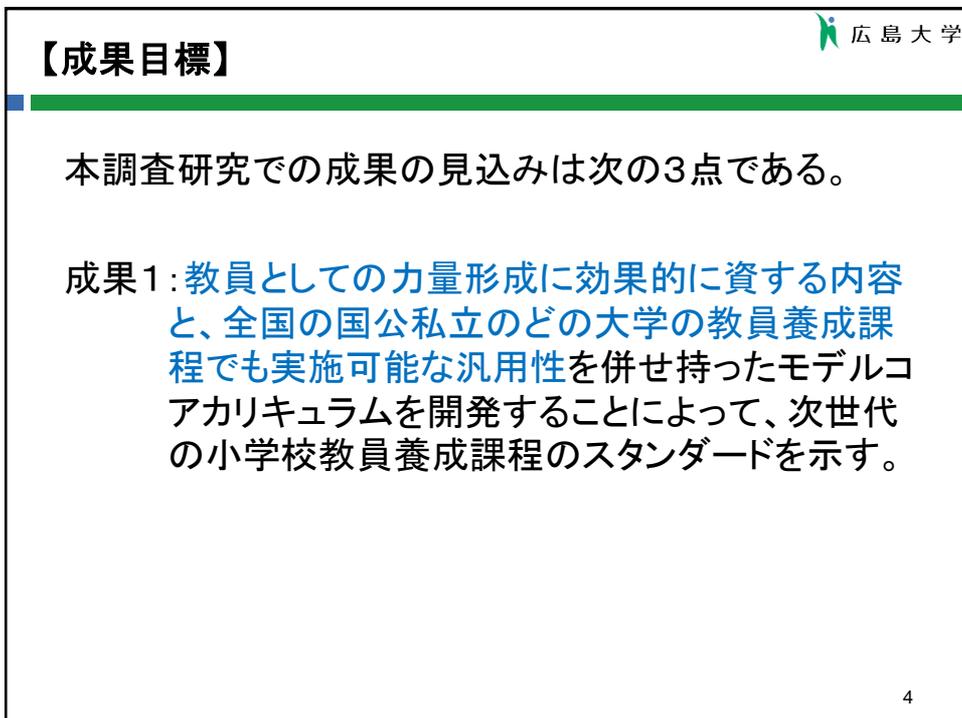
1

【テーマ】「『学び続ける教員』を育成する  
小学校教員養成モデルコアカリキュラムの開発」



本調査研究の目的は、「学び続ける教員」を育成するために、全国の国公立のどの大学の教員養成課程でも実施可能な汎用性を持つ、小学校の教科(英語以外)のモデルコアカリキュラムを開発し、その成果を全国に広く発信することである。そのために、複数の大学教員や教育委員会関係者、小学校教員等、多様な立場から意見を聴取し、開発に反映させるとともに、その運用と改善及び発信を継続的に行う組織を編成する。

2



## 【成果目標】

成果2: 小学校教科に関するカリキュラムの質的転換を進めることの意義やその内容を広く周知する。

成果3: 開発したコアカリキュラムの運用における必要な事項を継続的に確認・改善するための共同体として、広島大学の各教科の専門家が中心となって国公立大学・教育委員会・教員の連携組織を編成する。

## 【予備的調査】

1) 西日本の国公立・私立大学の小学校教員養成課程における各教科の「教科に関する指導法」および「教科に関する専門科目」のシラバスを収集し調査した。

23国立大学  
1公立大学  
37私立大学  
を対象



2) 全教科で調査・検討結果を共有した。

### 【予備的調査】

#### 「各教科の指導法」(国公立大学の具体例)

1	A	B	C	F	G	H	I	J
1	書類番号	国公立	所在都道府県	科目	科目名	必/選	単位数	授業回数
134	w指132	国立	愛媛	社会	初等社会科教育法	必	2	15
135	w指133	国立	愛媛	算数	初等算数科教育法	必	2	15
136	w指134	国立	愛媛	理科	初等理科教育法	必	2	15
137	w指135	国立	愛媛	生活科	初等生活科教育法	必	2	15
138	w指136	国立	愛媛	音楽	初等音楽科教育法	必	2	15
139	w指137	国立	愛媛	図画工作	初等図画工作科教育法	必	2	15
140	w指138	国立	愛媛	家庭科	初等家庭科教育法	必	2	15
141	w指139	国立	愛媛	体育	初等体育科教育法	必	2	15
142	w指140	国立	愛媛	英語	初等外国語の指導法		2	
143	w指141	高知	高知	国語	初等国語科指導法	必	2	15
144	w指142	国立	高知	社会	初等社会科指導法	必	2	15
145	w指143	国立	高知	算数	初等算数科指導法	必	2	15
146	w指144	国立	高知	理科	初等理科指導法	必	2	15
147	w指145	国立	高知	生活科	初等生活科指導法	必	2	15
148	w指146	国立	高知	音楽	初等音楽科指導法	必	2	15
149	w指147	国立	高知	図画工作	初等図画工作科指導法	必	2	15
150	w指148	国立	高知	家庭科	初等家庭科指導法	必	2	15

### 【予備的調査】

#### 「各教科の指導法」(私立大学の具体例)

1	A	B	C	F	G	H	I	J
1	書類番号	国公立	所在都道府県	科目	科目名	免許 必/選	単位数	授業回数
209	w私指182	私立	広島	社会	社会科教育法	必	2	15
210	w私指183	私立	広島	算数	算数科教育法	必	2	15
211	w私指184	私立	広島	理科	理科教育法	必	2	15
212	w私指185	私立	広島	生活	生活科教育法	必	2	15
213	w私指186	私立	広島	音楽	音楽科教育法	必	2	15
214	w私指187	私立	広島	図工	図画工作科教育法	必	2	15
215	w私指188	私立	広島	家庭	家庭科教育法	必	2	15
216	w私指189	私立	広島	体育	体育科教育法	必	2	15
217	w私指190-1	私立	広島	英語	児童英語教育法	選		指導法と合わせて4
217	w私指190-2	私立	広島	英語	児童英語指導法	選		教育法と合わせて4
218								
219	w私指191	私立	広島	国語	初等教科教育法(国語)	必	2	15
220	w私指192	私立	広島	社会	初等教科教育法(社会)	必	2	15
221	w私指193	私立	広島	算数	初等教科教育法(算数)	必	2	15
222	w私指194	私立	広島	理科	初等教科教育法(理科)	必	2	15
223	w私指195	私立	広島	生活	初等教科教育法(生活)	必	2	15

### 【予備的調査】

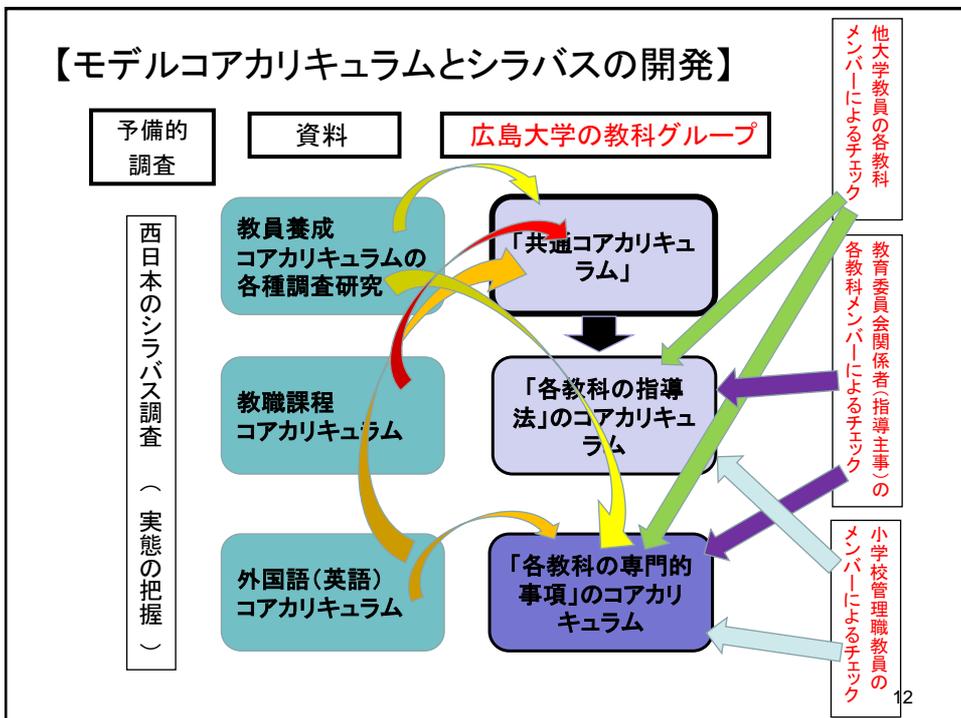
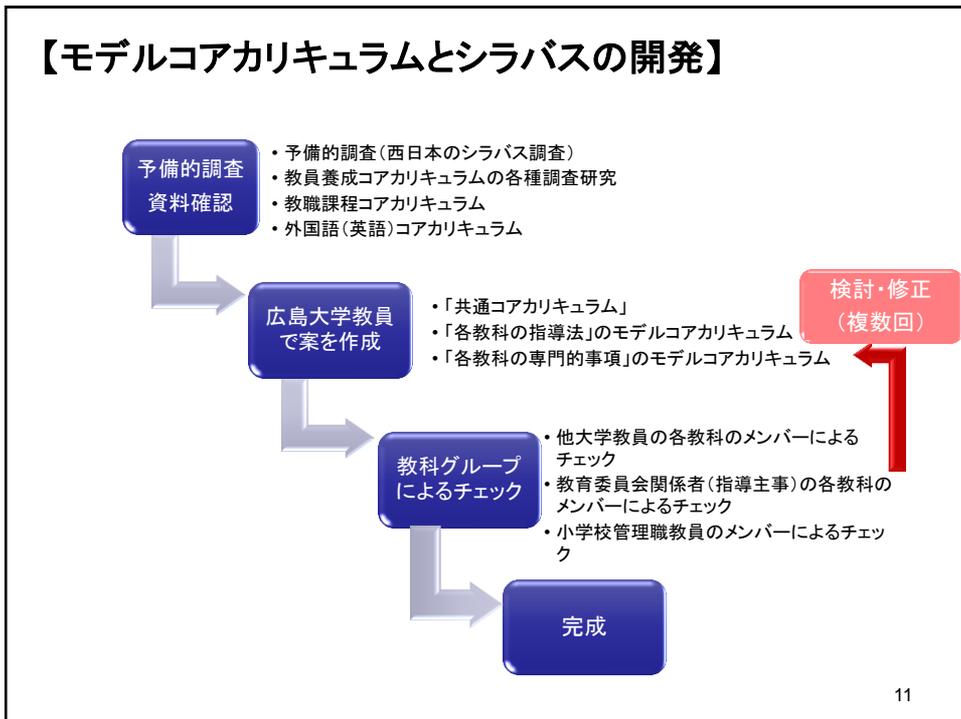
#### 「教科に関する科目」(国立大学の具体例)

1	A	B	C	F	G	H	I	J
1	書類番号	国公立	所在都道府県	科目種別	科目名	必/選	単位数	授業回数
130	w専111	国立	徳島	国語	初等国語	必	2	15
131	w専112	国立	徳島	社会	初等社会	必	2	15
132	w専113	国立	徳島	算数	算数	必	2	15
133	w専114	国立	徳島	理科	初等理科	必	2	
134	w専115	国立	徳島	生活科	生活	必	2	15
135	w専116	国立	徳島	音楽	初等音楽 I	必	2	
136	w専117	国立	徳島	図画工作	図画工作 I	必	2	15
137	w専118	国立	徳島	家庭科	初等家庭	必	2	15
138	w専119	国立	徳島	体育	初等体育 I	必	2	30

### 【予備的調査】

#### 「教科に関する科目」(私立大学の具体例)

1	A	B	C	F	G	H	I	J
1	番号	国公立	所在都道府県	科目種別	科目名	免許 必/選	単位数	授業回数
417	w私専269-4	私立	香川	体育	体育Ⅱ-Ⅱ	選	1	15
418	w私専270	私立	香川	英語	児童英語	選	2	15
419	w私専271	私立	福岡	国語	国語概論	選必	2	15
420	w私専272	私立	福岡	社会	社会科概論	選必	2	15
421	w私専273	私立	福岡	算数	数学概論	選必	2	15
422	w私専274	私立	福岡	理科	自然科学概論	選必	2	15
423	w私専275	私立	福岡	生活	生活科概論	選必	2	15
424	w私専276-1	私立	福岡	音楽	音楽 I ピアノ	選必	1	15
425	w私専276-2	私立	福岡	音楽	音楽 I 歌唱	選必	1	15
426	w私専277-1	私立	福岡	図工	基礎造形 I	選必	1	15
427	w私専277-2	私立	福岡	図工	基礎造形 II	選必	1	15
428	w私専278	私立	福岡	家庭	家庭科概論	選必	2	15
429	w私専279-1	私立	福岡	体育	体育A	選必	1	15
430	w私専279-2	私立	福岡	体育	体育B	選必	1	15
431	w私専280	私立	福岡	英語				
432	w私専281	私立	福岡	国語	初等国語科概論		2	15
433	w私専282	私立	福岡	社会	初等社会科概論		2	15



## 【共通コアカリキュラム】

- 西日本の国公立大学の「教科の指導法」と「教科の専門科目」のシラバス調査による実態把握
- ↓
- 教員養成コアカリキュラムの各種調査研究〈国立教育政策研究所(2015)等〉の提案を参照
- 教職課程コアカリキュラムを参照
- 外国語(英語)コアカリキュラムを参照
- ↓
- **小学校各教科のコアカリキュラムに共通の枠組みを提案**

本冊子34頁

## 【共通コアカリキュラム】

①教職課程コアカリキュラム対応表  
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)

<p>全体目標: 当該教科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された当該教科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。</p> <p>(1)当該教科の目標及び内容</p> <p>一般目標: 学習指導要領に示された当該教科の目標や内容を理解する。</p> <p>到達目標: 1)学習指導要領における当該教科の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。 2)個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。 3)当該教科の学習評価の考え方を理解している。 4)当該教科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。 5)発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置付けを考察することができる。 ※中学校教諭及び高等学校教諭</p>	<p>1 授業実践に必要な知識理解</p> <p>学習内容</p>	【全体目標】	当該教科における教育目標及び指導内容について理解するとともに、児童の学習の実際や様々な学習指導方法に基づいた授業づくりの方法を身に付ける。
		一般目標	学習指導要領に示された当該教科の教育目標や指導内容を理解する。
		学習項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該教科の意義と当該教科観の変遷</li> <li>・学習指導要領</li> <li>・教育目標、指導内容</li> <li>・当該教科の背景となっている関連諸学問や領域</li> <li>・社会の変化や児童の実態</li> </ul>
		到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該教科の意義と当該教科観の変遷を理解している。</li> <li>・学習指導要領もっている教育課程の基準としての性格並びに全体構造を理解している。</li> <li>・各校種との連携を念頭に置き、学習指導要領における当該教科の教育目標、育もつとする資質・能力、指導内容を理解している。</li> <li>・当該教科の背景となる関連諸学問や領域との関連の理解に基づき指導内容を構造的に理解している。</li> <li>・当該教科の内容を指導する際に留意すべき点について理解している。</li> </ul>
		2 児童の学習の実際や特徴	<p>一般目標</p> <p>当該教科における児童の学習の実際や特徴について理解するとともに、学習評価の在り方について理解する。</p> <p>学習項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の発達や学習</li> <li>・学習評価</li> <li>・個々の児童の理解と対応</li> </ul> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該教科における児童の学習の実際や特徴を理解している。</li> <li>・当該教科における評価の観点、学習評価の在り方について理解している。</li> <li>・児童理解に基づく適切な対応の仕方(他教科等との関連を含む)について理解している。</li> </ul>

特別な支援や配慮を要する子どもへの対応を位置づけた

(3) 広島大学作成 教科教育モデルコアカリキュラム案の報告

### 【共通コアカリキュラム】

①教職課程コアカリキュラム対応表  
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)

(2)当該教科の指導方法と授業設計

一般目標:  
基礎的な学習指導理論を理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。

到達目標:  
1) 子供の認識・思考、学力等の実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。  
2) 当該教科の特性に応じた情報機器及び教材の効果的な活用方法を理解し、授業設計に活用することができる。  
3) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。  
4) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。  
5) 当該教科における実践研究の動向を知り、授業設計の向上に取り組むことができる。  
※中学校教諭及び高等学校教諭

学習内容	(1)指導技術	一般目標	実践に必要な基本的指導技術を身に付ける。
	(1)指導技術	学習項目	・ICT ・コミュニケーション法 ・学習集団の組織 ・学習活動の構成(討論・ディベート・実習等)
		到達目標	・当該教科の特性に応じてICTを適切に活用することができる。 ・児童の発達や学習状況に応じた適切な表現を用い、対話することができる。 ・当該教科の学習の特徴に応じた適切な学習集団を組織することができる。 ・当該教科の学習の特徴に応じた適切な学習活動を構成することができる。
	(2)授業実践	一般目標	当該教科における基本的な指導方法を理解し、授業づくりの方法を身に付ける。
(2)授業実践	学習項目	・教材研究 ・指導計画(学習指導案等) ・授業改善	
	到達目標	・当該教科の目的に応じた教材研究ができる。 ・学習到達目標に基づいた指導計画について理解し、学習指導案を作成することができる。 ・模擬授業の実施とその反省を通して、授業改善の視点を身に付けている。	

アクティブ・ラーニングの視点に立った授業改善を位置づけた

討論・ディベート・実習等のアクティブ・ラーニングを位置づけた

ICTの活用を位置づけた

15

### 【共通コアカリキュラム】

②外国語(英語)コアカリキュラム対応表  
外国語の指導法【2単位程度を想定】

全体目標:  
小学校における外国語活動(中学年)・外国語(高学年)の学習、指導、評価に関する基本的な知識や指導技術を身に付ける。

1. 授業実践に必要な知識・理解  
1- (1)小学校外国語教育についての基本的な知識・理解

一般目標:  
小学校外国語教育に係る背景知識や主教材、小・中・高等学校の外国語教育における小学校の役割、多様な指導環境について理解する。

到達目標:  
1) 小学校外国語教育の変遷、小学校の外国語活動や外国語科、中・高等学校の外国語科の目標、内容について理解している。  
2) 主教材の趣旨、構成、特徴について理解している。  
3) 小・中・高等学校の連携と小学校の役割について理解している。  
4) 様々な指導環境に柔軟に対応するため、児童や学校の多様性への対応について、基礎的な事柄を理解している。

学習内容		【全体目標】	当該教科における教育目標及び指導内容について理解するとともに、児童の学習の実際や様々な学習指導方法に基づいた授業づくりの方法を身に付ける。
1 授業実践に必要な知識及び学習指導法	(1)当該教科の教育目標や指導内容	一般目標	学習指導要領に示された当該教科の教育目標や指導内容を理解する。
		学習項目	・当該教科の意義と当該教科観の変遷 ・学習指導要領 ・教育目標、指導内容 ・当該教科の背景となっている関連諸学問や領域 ・社会の変化と児童の実態
	(2)児童の学習の実際や特徴	到達目標	・当該教科の意義と当該教科観の変遷を理解している。 ・学習指導要領がもっている教育課程の基準としての性格並びに全体構造を理解している。 ・各校種との連携を念頭に置き、学習指導要領における当該教科の教育目標、育もつとする資質・能力、指導内容を理解している。 ・当該教科の背景となる関連諸学問や領域との関連の理解に基づき指導内容を構造的に理解している。 ・当該教科の内容を指導する際に留意すべき点について理解している。
		一般目標	当該教科における児童の学習の実際や特徴について理解するとともに、学習評価の在り方について理解する。
(2)児童の学習の実際や特徴	学習項目	・児童の発達や学習 ・学習評価 ・個々の児童の理解と対応	
	到達目標	・当該教科における児童の学習の実際や特徴を理解している。 ・当該教科における評価の観点、学習評価の在り方について理解している。 ・児童理解に基づく適切な対応の仕方(他教科等との関連を含む)について理解している。	

16

## 【共通コアカリキュラム】

### ②外国語(英語)コアカリキュラム対応表 外国語の指導法【2単位程度を想定】

全体目標:  
小学校における外国語活動(中学年)・外国語(高学年)の学習、指導、評価に関する基本的な知識や指導技術を身に付ける。

1. 授業実践に必要な知識・理解  
1-(1)小学校外国語教育についての基本的な知識・理解

1-(2)子供の第二言語習得についての知識とその活用

外国語特有の項目を各教科に共通の項目に修正

【全体目標】		当該教科における教育目標及び指導内容について理解するとともに、児童の学習の実際や様々な学習指導方法に基づいた授業づくりの方法を身に付ける。
1 授業実践に必要な知識・理解	(1) 当該教科の教育目標や指導内容	一般目標 当該教科の意義と当該教科観の変遷
		学習項目 学習指導要領 教育目標、指導内容 当該教科の背景となっている関連諸学問や領域 社会の変化や児童の実態
	到達目標 当該教科の意義と当該教科観の変遷を理解している。 学習指導要領がもっている教育課程の基準としての性格並びに全体構造を理解している。 各校種との連携を念頭に置き、学習指導要領における当該教科の教育目標、育もうとする資質・能力、指導内容を理解している。 当該教科の背景となる関連諸学問や領域との関連の理解に基づき指導内容を構造的に理解している。 当該教科の内容を指導する際に留意すべき点について理解している。	
	(2) 児童の学習の実際や特徴及び学習評価	一般目標 当該教科における児童の学習の実際や特徴について理解するとともに、学習評価の在り方について理解する。
	学習項目 児童の発達や学習 学習評価 個々の児童の理解と対応	到達目標 当該教科における児童の学習の実際や特徴を理解している。 当該教科における評価の観点、学習評価の在り方について理解している。 児童理解に基づく適切な対応の仕方(他教科等との関連を含む)について理解している。
		17

## 【共通コアカリキュラム】

### ②外国語(英語)コアカリキュラム対応表 外国語の指導法【2単位程度を想定】

2. 授業実践  
2-(1)指導技術

一般目標:  
実践に必要な基本的な指導技術を身に付ける。

到達目標:  
1) 児童の発話につながるよう、効果的に英語で語りかけることができる。  
2) 児童の英語での発話を引き出し、児童とのやり取りを進めることができる。  
3) 文字言語との出合わせ方、読む活動・書く活動への導き方について理解し、指導に生かすことができる。

2-(2)授業づくり

一般目標:  
実際の授業づくりに必要な知識・技術を身に付ける。

到達目標:  
1) 題材の選定、教材研究の仕方について理解し、適切に題材選定・教材研究ができる。  
2) 学習到達目標に基づいた指導計画(年間指導計画、単元計画、学習指導案、短時間学習等の授業時間の設定を含めたカリキュラム・マネジメント等)について理解し、学習指導案を立案することができる。  
3) ALT等とのチーム・ティーチングによる指導の在り方について理解している。  
4) ICT等の効果的な活用の仕方について理解し、指導に生かすことができる。

1 授業実践に必要な知識・理解	(2) 児童の学習の実際や特徴及び学習評価	一般目標 当該教科における児童の学習の実際や特徴について理解するとともに、学習評価の在り方について理解する。
		学習項目 児童の発達や学習 学習評価 個々の児童の理解と対応
	到達目標 当該教科における児童の学習の実際や特徴を理解している。 当該教科における評価の観点、学習評価の在り方について理解している。 児童理解に基づく適切な対応の仕方(他教科等との関連を含む)について理解している。	
	(1) 指導技術	一般目標 実践に必要な基本的な指導技術を身に付ける。
	学習項目 ICT コミュニケーション技法 学習集団の組織 学習活動の構成(討論・ディベート・実習等)	到達目標 当該教科の特徴に応じてICTを活用することができる。 児童の発達や学習状況に応じた適切な表現を用い、対話することができる。 当該教科の学習の特徴に応じた適切な学習集団を組織することができる。 当該教科の学習の特徴に応じた適切な学習活動を構成することができる。
2 授業実践	(2) 授業づくり	一般目標 当該教科における基本的な指導方法を理解し、授業づくりの方法を身に付ける。
		学習項目 教材研究 指導計画(学習指導案等) 授業改善
	到達目標 当該教科の目的に応じた教材研究ができる。 学習到達目標に基づいた指導計画について理解し、学習指導案を作成することができる。 模擬授業の実施とその反省を通して、授業改善の視点を身に付けている。	
		18

学習評価は「1-(2)」に一括して位置づけた

広島大学

## 【共通コアカリキュラム】

本冊子34頁

到達目標は15個設定

### 【全体目標】

当該教科における教育目標及び指導内容について理解するとともに、児童の学習の実際や様々な学習指導方法に基づいた授業づくりの方法を身に付ける。

### 【学習内容】

1. 授業実践に必要な知識・理解  
(1) 当該教科の教育目標や指導内容  
(2) 児童の学習の実際や特徴及び学習評価
2. 授業実践  
(1) 指導技術  
(2) 授業づくり

授業を計画し実践し改善するために必要な知識の理解を到達目標として示した。

授業を計画し実践し改善するために必要な授業づくりの方法を身に付けることを到達目標として示した。

力量形成を効果的に進めていく授業の具体的な形態を示した。

### 【学習形態】

①授業観察 ②模擬授業 ③講義

19

## 【各教科の指導法(2単位程度)】 例: 体育科

本冊子35頁～43頁

各教科の名称に修正

### 【1】体育科の指導法【2単位程度を想定】

#### 【全体目標】

小学校体育科における教育目標及び指導内容について理解するとともに、児童の学習の実際や様々な学習指導方法に基づいた授業づくりの方法を身に付ける。

#### 【学習内容】

1. 授業実践に必要な知識・理解  
(1) 小学校体育科の教育目標や指導内容  
◇一般目標  
学習指導要領に示された小学校体育科の教育目標や指導内容を理解する。  
◇学習項目  
①小学校体育科の意義と小学校体育科観の変遷 ②学習指導要領 ③教育目標、指導内容  
④小学校体育科の背景となっている関連諸学問や領域 ⑤社会の変化や児童の実態  
◇到達目標  
1) 小学校体育科の意義と小学校体育科観の変遷を理解している。  
2) 学習指導要領がもっている教育課程の基準としての性格並びに全体構造を理解している。  
3) 各校種との連携を念頭に置き、学習指導要領における小学校体育科の教育目標、育もうとする資質・能力、指導内容を理解している。  
4) 小学校体育科の背景となる関連諸学問や領域との関連の理解に基づき指導内容を構造的に理解している。  
5) 小学校体育科の内容を指導する際に留意すべき点について理解している。
- (2) 児童の学習の実際や特徴及び学習評価  
◇一般目標  
小学校体育科における児童の学習の実際や特徴について理解するとともに、学習評価の在り方について理解する。  
◇学習項目  
①児童の発達や学習 ②学習評価 ③個々の児童の理解と対応  
◇到達目標  
1) 小学校体育科における児童の学習の実際や特徴を理解している。  
2) 小学校体育科における評価の観点、学習評価の在り方について理解している。  
3) 児童理解に基づく適切な対応の仕方(他教科等との関連を含む)について理解している。

20

## 【各教科の指導法(2単位程度)】 例:体育科

### 2. 授業実践

#### (1) 指導技術

◇一般目標

実践に必要な基本的な指導技術を身に付ける。

◇学習項目

①ICT ②コミュニケーション技法 ③学習集団の組織 ④学習活動の構成(練習・示範・観察・話し合い等)

◇到達目標

- 1) 小学校**体育科**の特徴に応じてICTを適切に活用することができる。
- 2) 児童の発達や学習状況に応じた適切な表現を用い、対話することができる。
- 3) 小学校**体育科**の学習の特徴に応じた適切な学習集団を組織することができる。
- 4) 小学校**体育科**の学習の特徴に応じた適切な学習活動を構成することができる。

各教科特有の  
記述を補足

#### (2) 授業づくり

◇一般目標

小学校**体育科**における基本的な指導方法を理解し、授業づくりの方法を身に付ける。

◇学習項目

①教材研究 ②指導計画(学習指導案等) ③授業改善

◇到達目標

- 1) 当該教科の目的に応じた教材研究ができる。
- 2) 学習到達目標に基づいた指導計画について理解し、学習指導案を作成することができる。
- 3) 模擬授業の実施とその反省を通して、授業改善の視点を身に付けている。

【学習形態】は各  
教科共通なので教  
科のコアカリキュラ  
ムでは項目を省略

#### 【学習形態】

上記の内容を学習する過程においては、教員の講義に留まることなく、以下の学習形態を必ず盛り込むこととする。

- ① 授業観察: 小学校の授業映像の視聴や授業の参観
- ② 模擬授業: 1単位時間(45分)の授業或いは特定の活動を取り出した模擬授業
- ③ 講義(小集団でのディスカッションなどを含む)など

21

## 【各教科に関する専門的事項(1単位程度)】

広島大学

- 予備的調査での実態把握
- 外国語(英語)コアカリキュラムの記述の仕方を参照すると...

本冊子44頁~52頁

各教科の授業を担当するために

「必要な能力」を到達目標とする

「必要な指導内容の理解」を到達目標とする

22

## 【各教科に関する専門的事項(1単位程度)】

### ③外国語(英語)コアカリキュラム対応表

外国語に関する専門的事項【1単位程度を想定】

全体目標:

小学校における外国語活動・外国語の授業実践に必要な**実践的な英語運用力**と**英語に関する背景的な知識**を身に付ける。

#### 1. 授業実践に必要な英語力と知識

##### 1-(1) 授業実践に必要な英語力

一般目標:

小学校における外国語活動・外国語科の授業を担当するために必要な**実践的な英語運用力**を、授業場面を意識しながら身に付ける。

到達目標:

- 1) 授業実践に必要な聞く力を身に付けている。
- 2) 授業実践に必要な話す力[やり取り・発表]を身に付けている。
- 3) 授業実践に必要な読む力を身に付けている。
- 4) 授業実践に必要な書く力を身に付けている。

「小学校における外国語活動・外国語」(→「各教科に関する専門的事項」)を担当するために必要な**能力**を授業場面を意識しながら身に付けること

23

## 【各教科に関する専門的事項】 例:国語科

[2] 国語科に関する専門的事項【1単位程度を想定】

【全体目標】

小学校における国語科の教材分析や授業実践に必要な**言語運用力**及び**言語感覚**と**国語科に関する背景的な知識及び技能**とを身に付ける。

【学習内容】

1. 教材分析や授業実践に必要な**言語運用力**及び**言語感覚**と「言葉の特徴や使い方」、「情報の扱い方」、「我が国の言語文化」に関する**知識及び技能**

#### (1) 教材分析や授業実践に必要な言語運用力及び言語感覚

◇一般目標

小学校における国語科の教材分析や授業実践に必要な**言語運用力**及び**言語感覚**を身に付ける。

◇学習項目

- ①「話すこと・聞くこと」に関する**言語運用力**及び**言語感覚**
- ②「書くこと」、「読むこと」に関する**言語運用力**及び**言語感覚**

◇到達目標

- 1) 教材分析や授業実践に必要な「話すこと・聞くこと」に関する**言語運用力**及び**言語感覚**を身に付けている。
- 2) 教材分析や授業実践に必要な「書くこと」、「読むこと」に関する**言語運用力**及び**言語感覚**を身に付けている。

小学校における「各教科に関する専門的事項」を担当するために必要な**能力**を授業場面を意識しながら身に付けること

24

## 【各教科に関する専門的事項(1単位程度)】

### ③外国語(英語)コアカリキュラム対応表

外国語に関する専門的事項【1単位程度を想定】

#### 1-(2)英語に関する**背景的な知識**

一般目標:

小・中学校の接続も踏まえながら、小学校における外国語活動・外国語科の授業を担当するために必要な**背景的な知識**を身に付ける。

到達目標:

- 1) 英語に関する基本的な事柄(音声、語彙、文構造、文法、正書法等)について理解している。
- 2) 第二言語習得に関する基本的な事柄について理解している。
- 3) 児童文学(絵本、子供向けの歌や詩等)について理解している。
- 4) 異文化理解に関する事柄について理解している。

「小学校における外国語活動・外国語」(→「各教科に関する専門的事項」)の**指導内容**として必要な知識を理解(したり技能を身に付けたり)すること

## 【各教科に関する専門的事項】 例:国語科

### (2)「言葉の特徴や使い方」、「情報の扱い方」、「我が国の言語文化」に関する知識及び技能

◇一般目標

小学校における国語科の教材分析や授業実践に必要な「言葉の特徴や使い方」、「情報の扱い方」、「我が国の言語文化」に関する**背景的な知識や技能**を、授業場面を意識しながら身に付ける。

◇学習項目

- ① 言葉の働き、国語の文法、国語の語彙、国語の表記(「言葉の特徴や使い方」)
- ② 言葉遣い、国語の表現技法、音読・朗読(「言葉の特徴や使い方」)
- ③ 国語の文字(「言葉の特徴や使い方」)
- ④ 情報と情報の関係、情報の整理(「情報の扱い方」)
- ⑤ 伝統的な言語文化、言葉の由来や変化、読書(「我が国の言語文化」)
- ⑥ 書写(「我が国の言語文化」)

小学校における「各教科に関する専門的事項」の**指導内容**として必要な知識を理解(したり技能を身に付けたり)すること

◇到達目標

- 1) 教材分析や授業実践に必要な、**言葉の働き、国語の文法、国語の語彙、国語の表記**などに関する知識や技能を身に付けている。(「言葉の特徴や使い方」)
- 2) 教材分析や授業実践に必要な、**言葉遣い、国語の表現技法、音読・朗読**などに関する知識や技能を身に付けている。(「言葉の特徴や使い方」)
- 3) 教材分析や授業実践に必要な、**国語の文字**に関する知識及び技能を身に付けている。(「言葉の特徴や使い方」)
- 4) 教材分析や授業実践に必要な、**情報と情報の関係(論理)、情報の整理(比較、分類、引用、出典、図示等)などに関する知識や技能**を身に付けている。(「情報の扱い方」)
- 5) 教材分析や授業実践に必要な、**伝統的な言語文化、言葉の由来や変化、読書**などに関する知識や技能を身に付けている。(「我が国の言語文化」)
- 6) 教材分析や授業実践に必要な、**書写**に関する知識や技能を身に付けている。(「我が国の言語文化」) 26

広島大学

## 【国公立大学・教育委員会・教員の連携組織の編成】

2017(平成29)年度 大会  
初等教育カリキュラム学会 第2回大会  
「小学校教員養成の課題と展望」

開催日: 2018年1月7日(日)  
場 所: 広島大学東千田キャンパス 東千田総合校舎  
730-0053 広島県広島市中区東千田町1丁目1

シンポジウム テーマ: 「広島県小学校教員養成の課題と展望」

動静報告  
広島県教師養成塾 (広島県教育委員会)  
ひろしま未来教師セミナー(広島市教育委員会)

シンポジスト:  
岡本 徹(広島修道大学人文学部教育学教授)  
川西正行(広島文教女子大学人間科学部初等教育学教授)  
徳永隆治(安田女子大学教育学部児童教育学教授)

司会・進行:  
久保研二(島根大学大学院教育学研究科教育実践開発専攻准教授)  
米沢 崇(広島大学大学院教育学研究科学習開発学講座准教授)

広島県の小学校教員養成を行う国立私立の各大学の「広島教員養成コンソーシアム」の設立に向けての取り組み!



初等教育カリキュラム学会第2回大会  
「小学校教員養成の課題と展望」

プログラム

9:30-10:00	開会
10:00-11:30	島根県教育委員会
11:40-12:30	シンポジウム
13:00-14:00	お茶の時間
14:10-18:00	シンポジウム 広島県教育委員会 広島県立広島商業高等学校

2018年1月7日(日)  
広島大学東千田キャンパス 東千田総合校舎  
730-0053 広島県広島市中区東千田町1丁目1  
お問い合わせ先: 初等教育カリキュラム学会事務局 sec@hiroshima-u.ac.jp  
広島大学ホームページ: <http://home.hiroshima-u.ac.jp/news/>

27

広島大学

## 参考文献

- ・ 広島大学大学院教育学研究科初等カリキュラム開発講座(2013)「初等教育教員養成モデル・コア・カリキュラムの開発:教科指導を中心に」『平成24年度広島大学大学院教育学研究科共同研究プロジェクト』平成25年3月。
- ・ 国立教育政策研究所(2015)「教員養成等の改善に関する調査研究(全体版)報告書」平成27年3月

28